

2014年3月期 決算

(第39期 2013年4月1日～2014年3月31日)

株式会社松屋フーズ

銘柄コード9887

1. 2014年3月期 決算の実績

連結ベース

(単位: 百万円)

連 結	13年3月期実績		14年3月期				前期比 C-A		修正計画比 B-A	
	通期(A)		修正計画(B)		通期実績(C)					
売上高	79,091	100.0%	79,200	100.0%	78,939	100.0%	-152	-0.2%	-260	-0.3%
売上原価	26,798	33.9%	26,562	33.5%	26,777	33.9%	-20	-0.1%	215	0.8%
売上総利益	52,293	66.1%	52,637	66.5%	52,162	66.1%	-131	-0.3%	-474	-0.9%
販売管理費	50,365	63.7%	50,517	63.8%	49,815	63.1%	-550	-1.1%	-701	-1.4%
(うち人件費)	25,898	32.8%	26,294	33.2%	26,363	33.4%	464	1.8%	69	0.3%
営業利益	1,927	2.4%	2,120	2.7%	2,347	3.0%	419	21.8%	227	10.7%
経常利益	1,950	2.5%	2,080	2.6%	2,352	3.0%	401	20.6%	272	13.1%
当期純利益	770	1.0%	600	0.8%	690	0.9%	-80	-10.4%	90	15.0%

みんなの食卓でありたい。  松屋フーズ

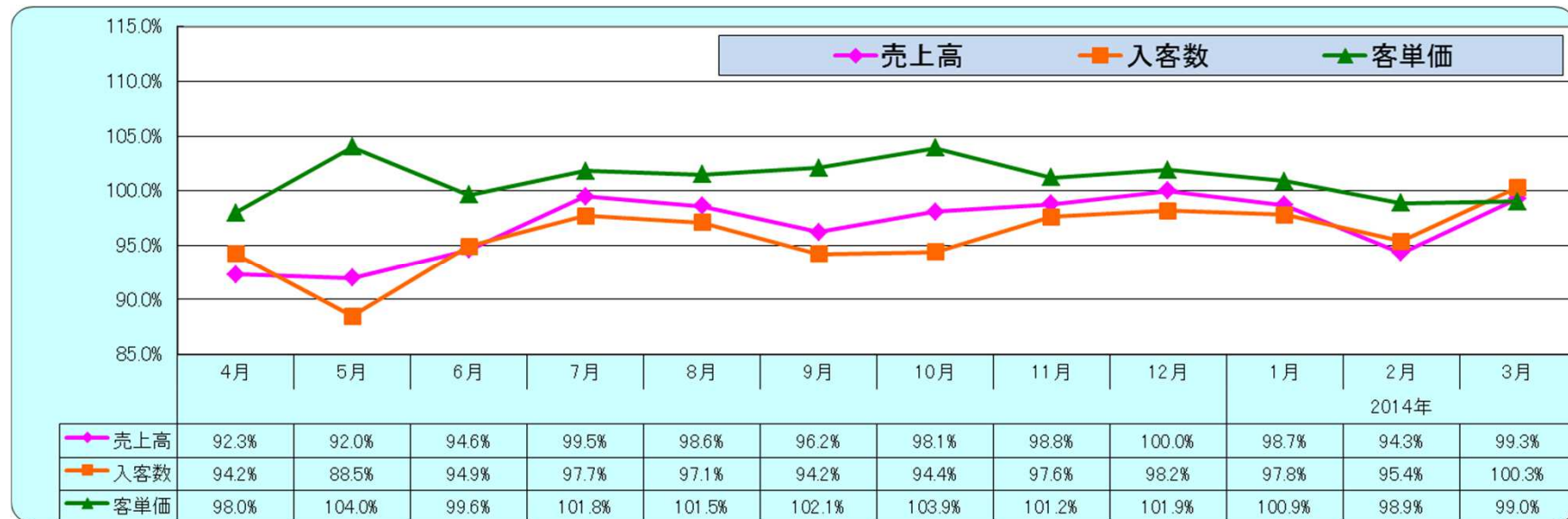
◇既存店売上実績 前年比96.9%

<既存店前期比>

	修正計画	実績	計画との差
売上高	97.4%	96.9%	△0.5
入客数	96.8%	95.8%	△1.0
客単価	100.6%	101.1%	+0.5

<出店・撤退&店舗改装 実績>

	13年3月期	14年3月期
出店	101	21
撤退	13	29
店舗改装計	54	7
うち全面	18	2
うち一部	36	5



下期改善傾向であり、12月は21か月ぶりに単月で前年を上回ったものの、2月の雪の影響もあり、通期計画比△0.5ポイントの96.9%の着地となった。

みんなの食卓でありたい。  松屋フーズ

◇2014年3月期 出店状況

(1) 業態別出店状況

業態	屋号	前期末	14年3月期 実績		3月末現在の店舗数
			出店	退店	
牛めし	松屋	996	5	26	975
とんかつ	松乃家	35	15	2	48
鮨	すし松 福松	8	0	1	7
その他	セロリの花 テラスヴェルト他	3	1	0	4
合 計		1042	21	29	1,034

※海外3店舗は含まず(連結合計では1,037店舗)

(2) 地域別出退店状況

	14年3月期 実績		3月末 店舗数	地域別 店舗数シェア
	出店	退店		
北海道・東北圏	1(0)	2(1)	39(20)	3.8%
北関東・甲信越圏	1(1)	3(2)	59(52)	5.7%
首都圏	15(1)	12(2)	649(120)	62.8%
東海・北陸圏	0	4(2)	86(75)	8.3%
関西圏	4(1)	6(4)	157(62)	15.2%
中国・四国・九州圏	0	2(1)	44(29)	4.3%
合 計	21(3)	29(12)	1,034(358)	100.0%

※()内はロードサイド店舗で内数

○店舗数1,034店舗
牛めし業態 975店舗
とんかつ業態48店舗

○新規出店数では、とんかつ
業態が松屋業態を上回った。

○不採算店閉店の推進、
出店は慎重に進めた。

○大都市圏、ビルイン型に回帰
傾向

みんなの食卓でありたい。  松屋7-ズ

◇2014年3月期 収益分析

○原価率 33.9%

原材料価格の動向を踏まえた商品開発及び、メニュー構成比の変化を図ったが、米や牛肉など主要原材料価格が想定以上に高止まりの傾向が続き、原価率は修正計画比+0.4ポイントの33.9%(前期同水準)となった。

○販管费率 63.1%

人件費については、店舗生産性向上等の取り組みを実施したが、時給上昇による人件費増加、既存店売上高の減少等の影響により、修正計画比+0.2ポイントの33.4%(前期比同+0.6ポイント)となったが、販管費全体では、各種経費削減効果及び新規出店、改装等見直したことにより、修正計画比▲0.7ポイントの63.1%(前期比▲0.6ポイント)となった。

○営業利益は、修正計画比+227百万円の2,347百万円(前期比+419百万円)。

○経常利益は、修正計画比+272百万円の2,352百万円(前期比+401百万円)。

売上高営業利益率は3.0%となった。

○特別損失として673百万円(計画比▲273百万円)計上となり、税引き前当期利益で1,810百万円と前期比+58百万円の増益となったが、当期純利益では修正計画比+90百万円の690百万円(前期比▲80百万円)となった。

2. 2015年3月期 通期計画

連結ベース

(単位: 百万円)

連 結	14年3月期実績				15年3月期通期				前期比			
	通期		うち上期		計画		うち上期計画		通期計画		うち上期計画	
売上高	78,939	100.0%	38,695	100.0%	79,810	100.0%	38,570	100.0%	870	1.1%	-125	-0.3%
売上原価	26,777	33.9%	13,149	34.0%	26,790	33.6%	12,963	33.6%	12	0.0%	-186	-1.4%
売上総利益	52,162	66.1%	25,546	66.0%	53,019	66.4%	25,606	66.4%	856	1.6%	59	0.2%
販売管理費	49,815	63.1%	24,908	64.4%	50,539	63.3%	24,976	64.8%	723	1.5%	67	0.3%
(うち人件費)	26,363	33.4%	13,073	33.8%	27,058	33.9%	13,133	34.0%	694	2.6%	59	0.5%
営業利益	2,347	3.0%	637	1.6%	2,480	3.1%	630	1.6%	132	5.6%	-7	-1.2%
経常利益	2,352	3.0%	628	1.6%	2,560	3.2%	670	1.7%	207	8.8%	41	6.6%
当期純利益	690	0.9%	179	0.5%	860	1.1%	100	0.3%	169	24.6%	-79	-44.3%

みんなの食卓でありたい。  松屋フーズ

◇2015年3月期 通期計画に関する解説①

既存店売上 100.0%

＜既存店前期比＞

	14年3月期 実績	15年3月期 計画		
		上期	下期	通期
売上高	96.9%	99.4%	100.6%	100.0%
入客数	95.8%	99.4%	100.4%	99.9%
客単価	101.1%	100.0%	100.2%	100.1%

原価率 33.6%

○主要原材料価格の動向等を考慮し、通期原価率33.6%（前期比▲0.3ポイント）

【前期実績 & 15年3月期計画内訳】

前期実績：33.9% 15年3月期計画33.6%（上期：33.6%、下期33.5%）

◇2015年3月期 通期計画に関する解説③

売上高販売管理費率 63.3%

○販管費率は、人件費の増加及び、前期に比べ出店、改装店舗数が増加することもあり、14年3月期比+0.2ポイントの63.3%を見込んでいる。

【14年3月期実績&15年3月期計画内訳】

売上高販売管理費率：14年3月期実績63.1%、15年3月期通期計画：63.3%（上期：64.8% 下期：62.0%）

売上高人件費率：14年3月期実績33.4%、15年3月期通期計画：33.9%（上期：34.1% 下期：33.8%）

15年3月期当期純利益見込み 860百万円

○営業利益2,480百万円（14年3月期比+5.6ポイント）

経常利益2,560百万円（14年3月期比+8.8ポイント）を見込んでいる。

○特別損失として約679百万円。

内訳：減損損失484百万円、その他（改装・撤退による除却）195百万円

○当期純利益、860百万円（14年3月期比+24.6ポイント）を見込んでいる。

【前期実績&15年3月期計画内訳】

前期純利益実績：690百万円 15年3月期通期計画：860百万円（上期：100百万円 下期：760百万円）

MEMO

みんなの食卓でありたい。  **松屋フーズ**



松屋 5/8(木)10時スタート



※本プレゼンテーション資料には、将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。

これらの記述は本プレゼンテーション資料発行時点のものであり、経済情勢や市場環境、為替・金利の変動等にかかわるリスクや不安定要因により実際の業績が記載の予想数値と大幅に異なる可能性があります。また、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。掲載された情報やその誤りについて、その理由に関わらず弊社は一切責任を負うものではありません。

みんなの食卓でありたい。  松屋フーズ